

2019 年 中学生国際こども会議 実施計画

2019 年 6 月 7 日更新

スプラタルカ

趣 旨

本国際会議を通して、参加国の子どもどうしが相互に自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解を目指す。同時に、恩納村及び県内の子ども達が世界へ目を向け活躍する人材育成の機会とする。

国際こども会議 概要

1. 会議の運営

主催：「国際こども会議実行委員会」、スプラタルカ

後援：恩納村教育委員会

2. 開催期日

2019 年 7 月 15 日（月曜日）

日本時間	14:30 – 16:30
台湾	13:30 – 15:30
マレーシア	13:30 – 15:30
タイ	12:30 – 14:30

3. 会議参加者（4 カ国） * 各国の希望者（有志） * 中学生相当

- ① 日本： 恩納村及び県内在住中学生（20 名～40 名程度）
- ② 台湾： 新東國民中學（台南市）（10 名～30 名程度）
<http://www.sdjh.tn.edu.tw/>
- ③ マレーシア： HSBM 中等学校（ペナン）（10 名～30 名程度）
<http://www.hsbm.edu.my>
- ④ タイ： Assumption College Lampang（ランパン）（10 名～30 名程度）
<http://acl.ac.th/>

4. 会議内容

テーマ：「みんなの意見をきかせて！」

（気になっていることを、みんなで話し合おう。）

「Let's exchange opinions and ideas! 」

（Share what you are concerned about or what you are curious about.）

5. 会場

日本：恩納村博物館 1 階研修室

台湾：学校内

マレーシア：学校内

タイ：学校内

6. 会議形式

- ビデオ通話を使った 4ヶ所同時中継（大型スクリーンに映す）
- 会場を解放し、見学者は会議を自由に見学できる。ただし、参加国の状況によっては閉じた集まりであっても構わない。（日本側は自由見学とする。）

7. 会議の目的

今回の会議は、お互いの意見交換を中心に進める。

自分の周りの「気になること」について、活発な意見交換を通して、国を越えた相互理解や自らの考えを伝える経験を深める。

また、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、リーダーの育成を促す。

国際会議のプログラム構成

* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	14:30-14:32 (2分)	Ice Break タイム！ <全員>	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。
	14:32-14:34 (2分)	各国司会者のあいさつ <各国司会者>	日本、台湾、マレーシア、タイの順番で、各国ひとことのあいさつ。
国や地域の紹介	14:35-14:47 (紹介 2 分、 質問 1 分。 各 3 分×4)	自分の国や地域の紹介 (日本、台湾、マレーシア、タイ) <各国担当者>	<u>自分の国や地域を簡単に紹介する。</u> ● 写真やビデオや図を使って紹介する。 ● それぞれに質問する。
	14:50-14:53 (3分)	休憩	3 分間の休憩（トイレ休憩）
テーマに沿った意見交換		自分たちの「気になること」の紹介と意見交換（日本、台湾、マレーシア、タイ） <国単位>	テーマ「 みんなの意見をきかせて！ 」（ 気になっていることを、みんなで話し合おう。 ）に沿って、 <u>各国から順番に「気になること」を紹介してもらい、それについて意見を交わす。</u>

	14:55-15:05 15:05-15:15 15:15-15:25 15:25-15:35 (各 10 分×4 : 40 分)	気になること 1 (日本) 気になること 2 (台湾) 気になること 3 (マレーシア) 気になること 4 (タイ)	● 事前に、ワークシートに自分が気になることをまとめておく。(事前準備) ● 「気になること」とは、例えば、<u>心配なこと、問題だと思うこと</u>や、逆に、<u>ワクワクするような興味あること</u>、などを指す。 ● 「気になること」の紹介は、国単位で行う。(各国 1 件にまとめる。) ● 発表者は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。(スタッフが通訳する。) ● <u>質問や意見は、国を指定せず自由に行う。</u>(挙手方式で、全体司会者がグループ(国)を選び、グループ内ではグループ側が発表者を選択する。) ● 今回は、<u>活発な意見交換を目的としているので、最終的な解決策などは求めない。</u> ● 時間を見ながら、適当なところで、次のグループに切り替える。
その他の意見	15:35-16:00 (25 分)	その他の意見の発表 (個人的に「気になること」を紹介し、意見を求める。) <希望者>	個人的に「気になること」を紹介して、みんなの意見を求める。 ● <u>国を指定せず</u>、自由に意見を取る。 ● <u>時間があれば、会場(観客)からの意見や質問</u>も取り上げる。 ● 時間を見ながら、適当なところで切り上げる。
終わりのあいさつ	16:02-16:03 (1 分)	会議をまとめる <全体司会者>	最後に会議を簡単にまとめる。
	16:04-16:05 (1 分)	国際会議終了のあいさつ <各国司会者> * ビデオ通話の終了	国際会議終了のあいさつ。 * <u>ビデオ通話を終了</u> する。
	16:07-16:10 (3 分)	休憩	3 分間の休憩 (トイレ休憩)
全体のまとめ	16:10-16:20 (10 分)	本会議のまとめ 感想の発表とワークシート記入	今日の会議について感想を述べる。(挙手方式) また、 <u>ワークシート</u> に記入してまとめる。 ● 各会場(各国)別々に行う。(ビデオ

		<全員、観客>	通話は終了している。) ● 今回の会議について意見や感想を取る。 ● <u>会場（観客）からも意見や感想を取る。</u> ● ワークシートに自分の感想を書き込む。
	16:25-16:26 (1分)	国際会議終了のあいさつ <全体司会者>	会議の終了を伝える。 * 国際会議終了

事前準備

1. **各自**に、自分が「気になっていること」を考えて、それをワークシートに記入してもらう。(宿題)
 - 「気になること」とは、例えば、心配なこと、問題だと思うことや、逆に、ワクワクするような興味あること、などを指す。
 - 「気になること」は、複数あってもよい。
 - 出来るだけ具体的に記入させる。
 - それを選んだ理由や、自分としての意見やアイデアも記入させる。
2. 事前研修で、「気になること」の発表を準備する。
 - グループ(国単位)としてひとつに絞る必要があるで、自分の「気になること」について全員で意見を出し合い、最終的にひとつにまとめる。
 - それを紹介する準備をする。(写真・図、役割)
 - 今回は、活発な意見交換を目的としているので、具体的な解決策や回答を前提とした議論は想定しない。「気になること」について、お互いで意見を出し合うことを目指す。
3. 事前研修で、日本や沖縄の紹介資料を作成する。
 - 日本や沖縄に関する写真を選択する。
 - 紹介用の図も作成する。英語の説明も加える。
 - パネルは5枚までとする。(発表時間の制限)
4. 司会（進行役）を決めておく。(各国)
 - 会議の進行を担当する。(英語が出来なくてもよい。通訳を前提。)
5. 通訳に生徒を加えてもよい。(各国)
 - 会議の通訳を担当する。その場合、スタッフが支援する。
6. 「気になること」の発表役を決めておく。(各国)
 - 人数は、発表の内容に合わせる。
7. 「国・地域の紹介」の発表役を決めておく。(各国)
 - 人数は、発表の内容に合わせる。

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

意思疎通の流れ

1. 原則、お互いの母語で会議を進め、通訳を介して意思疎通を図る。
2. 出来れば、自分の意見を英語で準備する。
3. 意思疎通の流れは以下の通り。
「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→
→<インターネット>→「通訳（母語）」→「相手生徒」
「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→
→<インターネット>→「通訳（母語）」→「相手生徒」

補 足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

国際会議開催までの日程

1. 5月7日（火） 国際会議第1回打ち合わせ
2. 5月13日（月）～6月28日（金） 参加者・ボランティアスタッフ 募集期間（募集範囲：沖縄本島全域）
*参加希望者は、研修前にワークシートに記入しておく。
3. 7月6日（土）9:00－10:00 第一回実行委員会開催
*ボランティアスタッフを含む。
4. 7月6日（土）10:00－15:00 第1回事前研修（意見のまとめ、発表準備）
*12:00-13:00 休憩（昼食）
5. 7月15日（月）13:00－14:20 第2回事前研修（発表練習、最終確認）
*集合前に昼食を済ませておく。
6. 7月15日（月）14:30－16:30 本会議開催

問い合わせ先

スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369

代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

Supratarka

